

令和4年度「市長会見撮影・編集等業務」業務委託仕様書

1. 件名

令和4年度「市長会見撮影・編集等業務」

2. 事業の概要

(1)趣旨

月2回の市長定例会見、および臨時会見(随時開催)の様態を神戸市ホームページを介してインターネット配信することにより、最新の市政情報をはじめ市長の考え方を市民にわかりやすく伝え、市政を身近に感じ関心を持ってもらうことを目的とする。

具体的には、受託者が撮影・編集した映像を、インターネット上(配信サービスとしてYouTubeを想定)で公開し、神戸市ホームページからリンクを貼ることで、広く発信する。

(2)契約期間

令和4年4月1日～令和5年3月31日

(3)想定回数

毎月2回×12か月(24回)及び臨時会見24回 計48回を想定とする。

3. 業務内容

(1)会見の撮影

【撮影方法】

- ・会見の様態を、受託者の撮影機材で撮影すること。
- ・また、受託者の撮影機材もしくは市が提供するハンディカメラで、会見の手話通訳者を撮影すること。

【撮影場所】

- ・原則として広報戦略部会見室(市役所1号館16階)とするが、庁内他会議室や庁外で行う場合もある。その際は、別途事前に市から連絡する。

【その他】

- ・準備を含め会見開始に間に合うよう(遅くとも会見開始の1時間前)現地入りし、当日の撮影の流れについて市と確認を行うこと。
- ・冒頭の発表項目や質疑応答を含む一部始終を撮影すること。
- ・マイクを使用するなど明瞭な音声を確保すること。
- ・アスペクト比は16:9とする。

(2)動画の中継配信

- ・広報戦略部会見室で行う会見時には、神戸市が提供する環境下(別紙1)で、インターネット上で会見動画の中継配信を行うこと(サービスとしてYouTube Liveを想定)。
中継配信については、会見の1営業日前までに、YouTubeLive上での配信設定を行い、市に設定状況の報告を入れること。
- ・その際、(1)で撮影する「市長映像」および「手話通訳者映像」を一画面で視聴できるよう、映像スイッチャー等(神戸市が提供する環境下(別紙1))を用いて配信すること。
- ・会見終了後は、速やかにインターネット上(YouTube)で配信済みの動画を一旦「非公開」とすること。

(3) 動画の編集・公開

【編集方法】

以下①・②の方法などにより、会見終了後おおむね3時間以内に、編集を終え、市に映像データを納品すること。

- ① インターネット上のサービス(YouTubeを想定)の機能で以下編集作業を行い、編集終了後、広報戦略部に報告すること。
- ② (2)のとおり、神戸市が提供する環境下(別紙1)で撮影した映像を電子記録媒体(SDカード等)で持ち帰り、以下編集作業を行うこと(広報戦略部内に設けた作業スペースでの編集作業も可能)。

※「市長映像」と「手話通訳者映像」を一画面に合成した映像を編集対象とする。

【編集作業】

- ・1本の動画として(分割しない)、テロップの表示(日付・会見名称など)や公開に適さない部分の映像をカットすること。

(4) 動画の納品等

- ・編集完了した動画を、電子記録媒体(SDカード等)やインターネット上の大容量ファイル交換サービス等を活用し、広報戦略部に納品する。
- ・インターネット上(YouTubeなど)で編集完了した動画のURLを広報戦略部に報告するなどの方法により納品し、広報戦略部に編集内容の確認を受けること。

4. その他

- ・業務内容に記載されていない事項については、必要に応じて広報戦略部と受託者で協議のうえ、決定するものとする。
- ・契約締結後、速やかに前年度の受託者から作業に関する引継ぎを受けること(原則として、業者間で引継ぎを行うこと)。
また、次年度も同業務がある場合、受託者が変更となった際は、次年度の受託者に協力し、速やかに引継ぎを行うこと。
- ・中継配信にあたりトラブルが生じた際は、速やかに広報戦略部職員に連絡するとともに、原因を調査し、復旧にむけた可能な対応を行うこと。
また、中継配信にトラブルが生じた場合でも、会見の映像(市長および手話通訳者)を保存し、当日中に神戸市ホームページ上で公開できるよう対策を講じること。
- ・撮影素材及び成果物の著作権は神戸市に帰属する。
- ・本市が提供する環境(別紙1)については、事前に市に問合せの上、下見することができる。

5. 支払方法

- ・出来高払い(月毎)
毎月の検査合格後、適法な請求書を受領した日から30日以内に支払う。

6. 委託業務の履行場所・作業場所等

神戸市内各所及び事業者の事務所

(別紙1) 本市が提供する環境

手話通訳付き会見動画の作成および中継配信の実施においては、神戸市が提供する下記の機器を用いることができる(各機器の接続状況図:別紙2)。なお、この機器は、神戸市が受託者に無償で提供する。

手話通訳者付き会見

- ・ 手話通訳者撮影用ビデオカメラ デジタルハイビジョンビデオカメラ (HC-V360MS)
- ・ 映像スイッチャー コンパクト HD ビデオスイッチャー (Roland V-1HD)
- ・ モニター付き収録デッキ Blackmagic Design 5 インチ モニターレコーダー
(VID-ASSIST (HYPERD/AVIDAS5HD) +BT-LPE6+492LCD)

中継配信実施

- ・ 中継配信方法 YouTube Live 上でのライブ配信を想定
※YouTube Live におけるイベント設定内容は、
事前に市の確認を受けること
- ・ 配信アカウント 別途指定する
- ・ ライブ配信機器 CEREVO LiveShell X
- ・ 操作端末 4G 回線に接続したタブレット等 (ipad)
- ・ その他 インターネット回線、LAN ケーブル及び各種ケーブル類は
神戸市が用意する

動画の編集 (いずれか等)

- ・ YouTube 上での編集 上記の配信アカウントを用いて、YouTube 上で中継配信した
動画を「動画の管理」ページから「動画加工ツール」にて編集
を行う
- ・ 動画編集ソフトでの編集 撮影した動画データを、受託者が用意する動画編集ソフト等
により編集する
使用する編集ソフトは問わないが、MP4 または WMV 形式に
て納品するものとする

(別紙2) 各機器の接続状況図 (イメージ)

